

# アサヒ 議会だより



<http://www.city.ama.aichi.jp/gikai/>



あま市安全安心大会（10月27日美和文化会館にて）

**9月定例会のあらまし**

**2ページ**

**平成23年度決算審査の概要**

**3ページ**

**平成24年度補正予算**

**9ページ**

**地域公共交通会議条例を制定**

**11ページ**

**市政を問う(13議員が一般質問)**

**13ページ**

# 9月定例会のあらまし

## 平成23年度決算11会計を認定

9月定例会は、9月6日から10月2日まで開かれました。

平成23年度決算認定について、所管の各常任委員会において会計ごとに慎重な審議を行い、本会議において原案どおり認定しました。

市長から条例の制定・一部改正、一般会計補正予算など11件が提案され、すべて原案どおり可決しました。

また、議員より議長辞職を求める決議案が提出され、採決の結果、賛成少数で否決しました。

そのほか、請願3件、陳情7件を審議し、請願1件を採択、2件を不採択、陳情3件を採択、4件を不採択と決定し、議員発議の意見書を5件可決し、27日間の会期を閉じました。

### 決

算の認定では、一般会計と特別会計を合わせた歳入総額439億9888万円、歳出総額419億7549万円を認定。企業会計では、水道事業会計決算および病院事業会計決算を認定しました。（3ページに掲載しています。）

### あ

ま市地域公共交通会議条例が制定され、これまで要綱で設置されていた「あま市地域公共交通会議」が、条例で設置されることになりました。（11ページに掲載しています。）

### 一

一般会計の補正予算を可決しました。9億9489

万8千円を追加し、262億328万円としました。追加された内容は、公共下水道基金積立金、都市計画道路遠島桂線に係る土地購入費、不活化ワクチンへの変更に伴う予防接種事業費、消防団統合関係事業費などです。（9ページに掲載しています。）

### 市

長の報告では、平成23年度決算に基づく「健全化判断比率」と「資金不足比率」が報告されました。健全化判断比率のうち、いずれかの比率が早期健全化基準以上になった場合、「財政健全化計画」を策定し、財政の健全化を図ることになりますが、あま市において

### 地

は、いずれの比率も基準を下回っています。方自治体における防災・減災のための事業に対する国の財政支援を求める意見書案が議員より出され、賛成多数で可決し、国の関係機関に提出しました。

### 一

般質問は、9月13日に行われました。26人の議員のうち、13人が登壇。防災対策など、多岐にわたって質問が出されました。（質問の内容は13ページから19ページに掲載しています。）



## 平成 23 年度各会計別決算額

区 分		歳入額	歳出額	
一 般 会 計		272 億 3840 万 5153 円	261 億 1496 万 7678 円	
特別会計	国民健康保険	97 億 4332 万 5788 円	91 億 0165 万 1146 円	
	土地取得	29 万 1577 円	29 万 1577 円	
	住宅新築資金等貸付事業	4126 万 5537 円	4126 万 5537 円	
	簡易水道事業	4033 万 2472 円	4010 万 8932 円	
	市営住宅管理事業	6284 万 4533 円	5149 万 7863 円	
	介護保険	保険事業勘定	39 億 3661 万 2213 円	37 億 7873 万 1925 円
		サービス事業勘定	2372 万 4957 円	1426 万 6703 円
	公共下水道事業	15 億 9025 万 5333 円	15 億 5523 万 0280 円	
	後期高齢者医療	13 億 2182 万 7192 円	12 億 7747 万 7427 円	
	合 計		439 億 9888 万 4755 円	419 億 7548 万 9068 円
区 分		収入額	支出額	
企業会計	水道事業会計	収益的収支	7 億 5826 万 9360 円	7 億 4446 万 9888 円
		資本的収支	1 億 5365 万 4131 円	2 億 8418 万 2249 円
	病院事業会計	収益的収支	20 億 9634 万 0934 円	20 億 4062 万 3021 円
		資本的収支	2 億 0581 万 6278 円	1 億 9877 万 8682 円

# 平成 23 年度 各会計決算審査の概要

## 一般会計

### 主な質疑

### 差し押さえの基準は

問 市税滞納に対する差し押さえの基準は。  
 収納課長 督促状や催告状を発送し、納税折衝を行っても納められない方に対して、家庭の事情等を把握しながら行う。

### 時間外勤務手当

問 時間外勤務の改善はされているか。  
 職員を増やすこととはできないか。  
 企画財政部長 22年度と比較して約30%減、約1万8000時間の縮減と

なっている。  
 人事秘書課長 職員配置について今後見直していきたい。

### 行政委託協力費交付金

問 交付金の用途について、区長から毎年明細等をもらっているか。  
 総務課長 配布物の配布に協力していただく観点から交付している。使途について限定しておらず、実績報告はもらっていない。

### 国際交流事業費

問 フレンドシップ国を紹介する教材として何冊配布したか。  
 企画政策課長 4000冊を全小中学校へ配布し、授業で活用していたいている。

### 公共施設予約システム使用料

問 パソコンを持っている人にに対する対応は。  
 企画政策課長 一部の公共施設に端末を置き、利用していただいている。サービスセンターで職員に相談していただき予約することもできる。

### まつり事業補助金

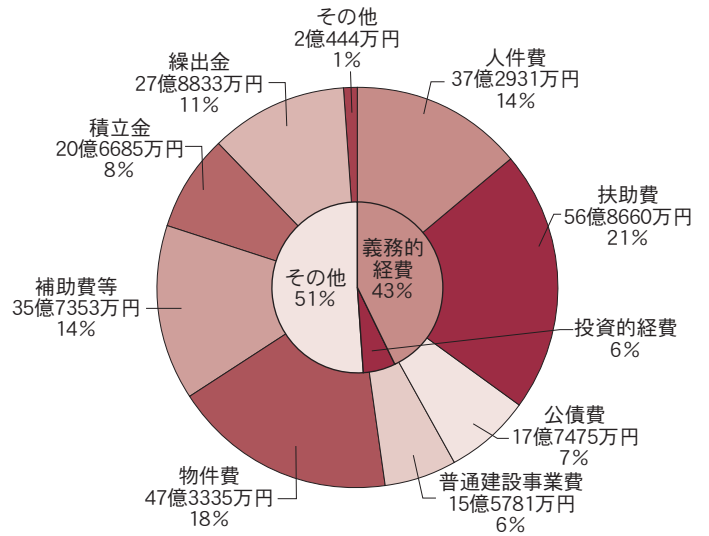
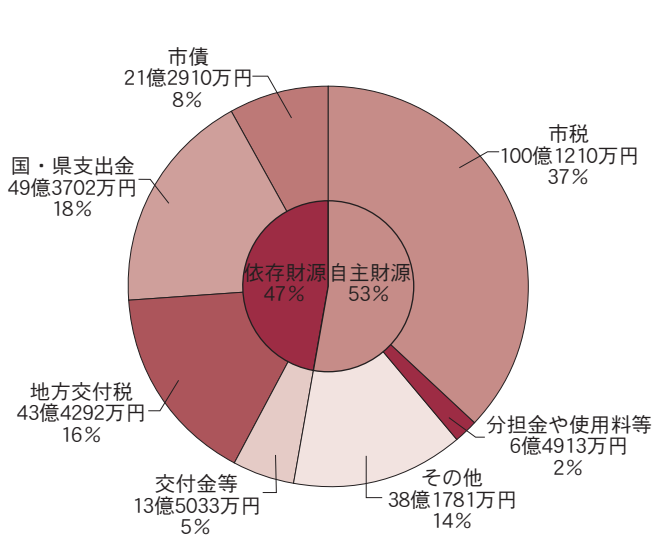
問 基目寺地区は雨で中止になったが、決算額はどうなっているか。  
 企画政策課長 やむを得ず中止となったが、準備などで一定の経費がかかっている。総支出額のうち補助対象経費は291万6523円。

(5ページにつづく)

## 一般会計決算の内訳

**歳入 272 億 3841 万円**

**歳出 261 億 1497 万円**



名称	解説
自主財源	市が自主的に収入できる財源
依存財源	国や県の意思によって定められた額を交付される財源
地方交付税	公的サービスに格差が生じないように、国が地方公共団体の財政力を調整するために交付するもの
国県支出金	国や県からの補助金など
市債	市が歳入の不足を補うために発行する債券
義務的経費	支出が法令などで義務付けられ、任意に削減できない性質の経費
投資的経費	各種社会資本整備など、支出の効果が長期にわたる経費
扶助費	障害者福祉や老人福祉、児童福祉など、社会保障制度の一環として、対象者に対して支給される経費
公債費	市が借り入れたお金の返済に使われる費用
普通建設事業費	道路、学校、公園などの公共施設の建設や用地取得などに必要な経費
物件費	人件費、扶助費、維持補修費などを除く、支出の効果が短期間で終わる費用
補助費等	各種団体に対する助成金や一部事務組合への負担金など
積立金	基金などに積み立てるための費用
繰出金	一般会計と特別会計、または特別会計間で支出される経費

(3ページからつづく)

## 文化の杜指定 管理料

**問** 指定管理者が地元雇  
用している従業員は何名  
か。

**教育部長** あま市在住の  
方は12名。



美和文化会館

**問** 指定管理者がかわる  
と地元雇用もかわるので  
はないか。

**生涯学習課長** 指定管理  
者候補者となった者から  
は、地元の方を優先的に

再雇用するという内容の  
提案を受けている。  
地元雇用の確保に向  
け、指定管理者候補者と  
協議を進めていきたい。

## 事務管理費 (収納課)

**問** 臨時職員が市の職員  
に与えた影響、収納率の  
向上および滞納処分件数  
に対しての寄与は。

**総務部長** 臨時職員は滞  
納者の追跡調査、各種財  
産調査などを約2100  
件実施した。不動産差し  
押さえ5件、その他債権  
差し押さえ3件の事務指  
導も行っている。破産事  
件、競売事件など40件の  
交付要求の法的な事務処  
理の助言をいただき、職  
員の徴収事務知識、徴収  
技術の向上に寄与してい  
る。

## 男女共同参画 推進プラン策 定費

**問** プランの方向性は。  
**人権推進課長** 昔から根  
強く残っている、男女の  
固定的な役割分担意識な  
どをなくし、女性が社会  
参画できるような形で進  
めたい。

## 人権ふれあい センター費

**問** 報償費の内容は。  
**人権推進課長** 教室など  
の講師料。

**問** 文化会館や公民館な  
どで行えないか。

**人権推進課長** 県からの  
補助金を受けており、人  
権ふれあいセンターで行  
うのが条件である。

## 甚目寺老人福 祉センター費

**問** 備品購入費の詳細  
は。  
**企画財政部長** アナログ  
放送終了に伴い、地上デ  
ジタル放送に対応したテ  
レビを1台購入した。

## 地域生活支援 事業費 (相談支援)

**問** 事業の内容は。  
**社会福祉課長** 障害者本  
人および家族からの相  
談、会場まで来られない  
方には自宅へ訪問しての  
相談を行った。

## 次世代育成支 援対策地域行 動計画策定費

**問** 委託先と事業の内容  
は。  
**福祉部長** 委託先は、株

## 生活保護費

**問** 年代別の人数は。  
**社会福祉課長**

(単位：人)

年代 基準日	0～ 5歳	6～ 19歳	20～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 64歳	65～ 69歳	70～ 74歳	75歳 ～
24.4.1	21	55	55	61	92	98	106	85	165
23.4.1	21	43	43	55	102	98	93	84	150

**問** 働き盛りの生活保護  
が増えているが、市とし  
ての対策は。  
**社会福祉課長** 就労指導  
専門員を活用し、就職活  
動の対応策を一緒に考  
え、就職につなげる。

(6ページにつづく)

(5ページからつづく)

## 救急医療情報 キット配布事業費

**問** 1万5000キット購入の根拠は。  
購入に対して配布が少なすぎる。見込みが甘いのでは。

**健康推進課長** 高齢者のみの世帯、要介護認定者、障害者などで約1万1500人であったので、重複分を見込み1万本。24年度から28年度までの新規分が5年間で5000本。

近隣市町村の実績に加え、健康に不安がある方の分も含めた。妥当な数字だと考える。

## 予防接種事業費

**問** 対象者に対する接種者の割合は。

接種予定人数に対する接種者の割合は。  
**市民生活部長**

	子宮頸がん予防ワクチン	ヒブワクチン	小児用肺炎球菌ワクチン
対象者に対する割合	46.5%	16.9%	16.7%
接種予定人数に対する割合	131.7%	59.2%	65.9%

**問** 接種率を上げるための対策は。  
**健康推進課長** 国において定期予防接種化することが検討されている。

## 商工業振興資金保証料補助金

**問** 申し込み件数と認定数は。  
**建設産業部長** 45件の申し込みに対し、すべて補助した。

## 都市計画マスタープラン策定費

**問** 策定委員会の7人の委員へ、報償が1人当たり5500円支払われているが、2月27日に行われた策定委員会では、7人のほかに1人参加して、この方には1万円が支給されているが。  
**都市計画課長** 大学教授に委員長をお願いしている。市の講師謝礼単価基準表に大学の教授、大手企業・公務員の部長級以上は1万円以内となっている。

## 建築関係資料電子化事業費

**問** 仕事の内容は。  
**建設産業部長** 建築確認申請書類12万4000枚をスキャナーで読み取り、PDF化し、そのうち5万2000枚分をパソコン上の住宅地図に落とし込む作業。

## 応急仮設住宅建設計画調査費

**問** 建設候補地19カ所の配置計画図の内容は。  
**建設産業部長** グラウンド、公園など19カ所の候補地の給排水、電気、ガスの引き込み状況など情報一覧や、緊急輸送道路からのアクセス図、敷地内での仮設住宅配置図を設定している。

## 木田駅周辺整備事業費

**問** 当初の計画どおり19億円で完成するか。  
**都市計画課長** 19億円の中ですべて終わる予定で、今年度末工事完了を進めている。

## 自主防災組織防災訓練育成補助金

**問** 42ある自主防災会のうち、9つは防災訓練を実施しなかったのか。  
**安全安心課長** 自主防災会情報交換会などで実施を呼びかけているが、残念ながら一部の区では実施に至らなかった。

## 防災カレッジ事業費

**問** 防災カレッジを修了された方は、自主防災会

にどのように携わっているのか。

**安全安心課長** 防災リーダーとして、自主防災活動に積極的に関与していただいていると認識している。自主防災会の情報交換会で、カレッジ受講者を自主防災会の構成員として登用している例を紹介し、さらなる活用を呼びかけている。

## 施設整備費（小中学校）

**問** 扇風機の設置状況は。  
**教育部長** 平成24年6月29日にすべて完了した。



教室に設置された扇風機



## 放課後子ども 教室運営事業 費

問 定員オーバーとなっ  
ている教室はないか。  
福祉部長 甚目寺小と甚  
目寺南小の放課後子ども  
教室で、定員を上回って  
登録しているが、実際の  
平均利用数は、定員以内  
である。

## 給食材料費

問 放射能簡易測定器で  
検査して、50ベクレル以  
上であった件数は。  
学校給食センター課長  
50ベクレル以上のものは  
1件もなかった。

## 討論(要旨)

### 【反対討論】

野中幸夫 評価できるこ  
ともあるが、人権問題、  
滞納者を初めから悪質な  
人と位置づけた対応、ご  
み袋をめぐる問題の責任  
のあり方などを見ると、  
とても賛成できるもので  
はない。

### 【賛成討論】

花木敏行 あま市版防災  
カレッジの開催、教育環  
境の充実ほか、安心、安  
全のまちづくりのため、  
実施事業について精査、  
執行された決算で十分に  
評価できる。

## 採決結果

賛成多数により、原案ど  
おり認定。

## 国民健康保 険特別会計

## 主な質疑

問 不納欠損の主な理由  
および対応は。  
市民生活部長 理由は時  
効に係るもの、外国人加  
入者が出国したケースな  
ど。滞納者の納税意識を  
高め、税収確保に努めて  
いく。

問 国保会計は一般会計  
からの繰入金が必要なら  
成り立たないのか。  
保険医療課長 繰入金が  
ないと、運営が難しいの  
が実情である。

問 国保税が高過ぎて払  
えない人がたくさんい  
る。基金と繰り越すお金  
の合計が9億円もあるの  
で、国保税を下げて、み  
んなが払える制度にする  
ことが必要では。

## 討論(要旨)

保険医療課長 一般会計  
からのその他繰入金3億  
5000万によって、保  
険料が1人当たり1万3  
000円相当下がってい  
る。2億9600万円ほ  
どの基金は、突発的な医  
療費が必要になったとき  
のために、年間医療給付  
費の5%ほどを基金とし  
て持ちなさいと県の指導  
もあり、できるだけ持ち  
たい。

【反対討論】  
加藤哲生 国保税が年々  
上がり、払いたくてもと  
ても払えないという声が  
たくさんある。住民の命  
と健康、さらに暮らしを  
守り、住民の本来の役割  
を取り戻すことを求め反  
対する。

## 採決結果

賛成多数により、原案ど  
おり認定。

## 簡易水道事 業特別会計

## 主な質疑

問 名古屋市へ払ったお  
金と水道使用料として集  
金したお金の差額が17  
8万9390円となり、  
足りないが。  
上下水道事業調整監 平  
成22年度までは地元組合  
に委託していた関係で、  
通常6回の集金が5回で  
あったため差が生じた。

問 水道事業と簡易水道  
事業の有収率の違いと対  
策は。  
上下水道事業調整監 簡  
易水道給水区域では、既  
存の配水管で老朽化して  
いるところもあり、それ

## 討論(要旨)

【反対討論】  
野中幸夫 有収率80・97  
%は、低過ぎる。この件  
に対する対策が明らかに  
されていない。これでは  
市の持ち出しが増え続け  
てしまうので反対する。

## 採決結果

賛成多数により、原案ど  
おり認定。

## 後期高齢者 医療特別会 計

## 水道事業 会計 主な質疑

**問** 石綿は健康上いろいろ話題になっているが、水道に使われた石綿に関するあま市の基本的な考え方は。

**問** 老朽管の定義は。上下水道事業調整監 布設後、耐用年数である40年を経過した配水管を老朽管と考えている。

**問** 布設替えの内容と残ったものの基本的な対応は。

**上水道課長** 下水道工事に伴い約3キロ、主要地方道名古屋津島線バイパスの整備に伴い約2キロの布設替え。残った24キロについての計画はないが、下水道の工事にあわせて、施工したい。

**問** 石綿管は何キロぐらい残っているか。  
**上下水道事業調整監** 七宝地区で約9キロ、美和地区で約0・6キロ。

**採決結果**  
全員賛成により、原案どおり認定。

## 病院事業 会計 主な質疑

**市民病院事務局長** 決して黒字を出すために1億円の補正をしたわけではない。あくまでも2月、3月の収益が増になった関係でこういう決算状況になった。

**問** 急ぎよ1億の補正をし、経常損益が3600万円の黒字になったが、この意味は。

**市民病院事務局長** その当時は、現金ベースで約1億円の収支不足が見込まれたため、補正をお願いした。

**問** あま市民病院は、いかにも黒字になったようなイメージの新聞記事を見て、びっくりした人が多かった。一種の粉飾決算に近い決算だという認識でいるが、そういう認識でよいか。

## 討論 要旨

### 【賛成討論】

**野中幸夫** 新市民病院の建設に向けた一歩を示した決算で、災害時に医療継続が可能な施設を目指している。地域医療を守り、その中核になる市民病院と職員のさらなる質的な発展を求め賛成する。

### 【賛成討論】

**柏原 功** 経営改善の結果が見られる。地域の中核病院として、安心、安全で質の高い医療サービスの提供、地域に開かれた病院としてのさらなる努力を期待して賛成する。

### 【反対討論】

**八島 進** 毎年の大きな税の補てん、垂れ流しにおいては、やはり一般市民の目から見た場合にあまりにも多額で認められない。もつとほかに手を打つべきところがある。

## 討論 要旨

### 【反対討論】

**加藤哲生** 命と健康にかかわる医療に、年齢の差別と高齢者への新たな負担増を持ち込み、長年社会に貢献してきた高齢者に苦しみを強いる制度は、廃止すべきだと考え反対する。

## 採決結果

賛成多数により、原案どおり認定。

## 採決結果

賛成多数により、原案どおり認定。



# 平成24年度補正予算

一般会計  
 国民健康保険特別会計  
 介護保険特別会計(保険事業勘定)

9億9490万円  
 2億3928万円  
 1億5788万円

など

平成24年度一般会計と六つの特別会計補正予算は、歳入歳出それぞれ総額15億1472万1千円を追加するもので、すべての会計において原案どおり可決されました。

## 一般会計

### 主な質疑

#### 賦課徴収費

(ご当地ナンバー)

問 具体的な内容は。

総務部長 サイズは縦10センチ、横20センチで従来のものより幅が3センチ大きくなる。作成予定枚数は50cc以下800枚、90cc以下100枚、125cc以下100枚

問 交換手数料は。  
 答 無料。

の計1000枚。ホームページ、広報などでデザインを募集し、最優秀作品1点、優秀作品2点を選定する。

問 施設整備費の工事内容は。

建設産業部長 駐車場内給水管の腐食に伴う給水管更新工事。

問 本来当初予算で組むべきではないか。

都市計画課長 この地区の測量は、田に水が入っているときできない。秋の収穫を待つて事業計画を進めることにより、国の補助などを受けられる。

#### 七宝産業会館 費

問 修繕の内容は。

建設産業部長 玄関エントランス柱表面が老朽化により、はがれたことに伴う修繕。

#### 土地区画整理 事業費

問 計画面積は。

建設産業部長 七宝町秋竹の三角、柏田地区において計画面積約2ヘクタール。

#### 採決結果

全員賛成により、原案どおり可決。



七宝産業会館

## 土地取得 特別会計

主な質疑

## 土地開発基金 積立金

問 積立金での土地の購入予定は。  
総務部長 今回の措置は、土地取得特別会計を通じて、基金から一般会計へ土地を売り払い、売り払った土地の代金を基金に戻す経理上の措置のため、新たに土地を購入するためには積み立てを行うものではない。今回の価格は、昭和61年に先行取得した、あま市七宝町遠島鳥居先の土地、487平方メートル分。

**採決結果**  
全員賛成により、原案どおり可決。

## 介護保険 特別会計

主な質疑

## 前年度繰越金

問 多額の繰越金の理由は。  
高齢福祉課長 介護給付費の伸びが予想より少なかった。

## 介護給付費 準備基金積立金

問 これほど多額に積み立てられるのなら、保険料の値上げは不要なのでは。  
高齢福祉課長 今後、特別養護老人ホームおよびグループホームの開設を計画している。さらに団塊世代の方が高齢化し、現状のままでは給付費が次第に膨れ上がっていく、保険料を引き上げる時期が遠からず来ると思われる。その時期を

るだけ先送りするために、基金を積み上げさせていたきたい。

## 採決結果

全員賛成により、原案どおり可決。

## 後期高齢者 医療特別会計

## 広域連合納付金

問 なぜこの時期に発生するのか。  
保険医療課長 広域連合の決算が終わり、出納整理期間もすべて終わってからのことになるので、9月議会にしか出せない。

歳入決算額については、景気の低迷により厳しい財政運営の中、市税収納率の向上が見られる。これは、日々の徴収努力および愛知県西尾張地方税滞納整理機構への参加による一定の成果と考えられる。

平成24年度からコンビ二エンスストア収納が開

## 討議(要旨)

【反対討論】  
松下昭憲 後期高齢者医療制度に初めから全面的に反対しているため、反対する。

## 平成23年度 決算審査意見書

### 代表監査委員が報告

監査委員による一般会計・特別会計の決算審査は、6月7日から7月25日まで行われました。  
本会議で報告された審査意見書のうち、一般会計の内容を要約してお知らせします。

加が要因と考えられる。これらの要因を考慮したうえで、今後も事務の改善および事業内容をより一層精査し、市民の信頼に応える財政運営を図られたい。

平成23年度は、予備費の充用が行われ、充用先は消防費および教育費となっている。  
中でも消防費については、東日本大震災被災地への職員派遣に係る費用となっている。

近隣市町村に限らず、広域でも協力関係を築けるよう積極的に取り組み、災害に強いあま市のまちづくりを要望する。

諸支出金については、病院事業会計支出金の増

## 採決結果

賛成多数により、原案どおり可決。

# 地域公共交通会議条例

## を制定

市民の生活に必要な公共交通の利便を図り、地域の実情にあった輸送サービスに必要な事項を協議するため「あま市地域公共交通会議」を設置します。

この会議は、平成24年4月から要綱により設置され、市民代表、交通事業者、学識経験者などであま市の公共交通について検討を重ねていましたが、施策の実施や課題の迅速な解決のため、条例設置の会議に移行するものです。

### 主な質疑

#### 巡回バスは

**問** 巡回バスを走らせることが検討されているか。

**企画財政部長** あま市の実情に即した輸送サービスに関して、事業実施の必要性も含め、あらゆる角度から検討を行っている。巡回バス方式も検討していたが、デマンド方式などあらゆる

#### 組織について

**問** 委員のうち、学識経験者、関係団体の職員とは。

**企画財政部長** 学識経験者は、中部運輸局の地域公共交通コーディネーターもされている、名城大学理工学部システム工学科の教授。運送事業者

る運行形態の中から、あま市にあったものを検討し、事業実施の方向性を考える。

および関係団体の職員は、名古屋タクシー協会、愛知県バス協会、名鉄バスおよび市内のタクシー事業者の代表者である。

**問** メンバーは、要綱設置の会議と同じ委員か。増員すべきでは。

**企画財政部長** 要綱設置の委員会から、条例設置の委員会に移行するという考え方であるが、会議の中で、新たな委員の推薦があった場合などは検

討することになる。

#### 会議の公開は

**問** 会議は、原則として公開とあるが、どのように公開するか。

**企画財政部長** 市のホームページに、会議日程を事前公表する。会議終了後には、会議概要を市のホームページに公表することも考えている。

#### 採決結果

全員賛成により、原案どおり可決。

## 条例改正

### 防災会議条例の一部改正

◇改正の概要

災害対策基本法の改正に伴い、防災会議の所掌事務として、①市長の諮問に依りて地域の防災に関する重要事項を審議すること、②重要事項に関する

#### 採決結果

全員賛成により、原案どおり可決。

### 遺児手当支給条例の一部改正

◇改正の概要

児童扶養手当法施行令の改正に伴い、父または母が配偶者に暴力などを加え、裁判所から、つきまといなどの禁止命令を出された児童も支給対象とされた。

#### 採決結果

全員賛成により、原案どおり可決。

### 災害対策本部条例の一部改正



## 議長辞職を求める決議

賛成少数で否決

10月2日の9月定例会最終日に、伊藤嘉規議長の議長辞職を求める決議が提出されました。

本会議で、当事者である伊藤議長が議場から退場し、討論の後、採決が行われ、賛成9、反対14の賛成少数で否決されました。

### ▽決議の内容

伊藤嘉規議長は、議会運営はもろんのこと、議会内外での発言、議長としての配慮、采配能力が著しく欠けており、統率力もない。よって、伊藤嘉規議長の議長辞職を求める決議として、提出するものである。

### ▼提出者

松下昭憲  
横井正秀  
寺本隆男  
櫻井信夫  
八島 進  
岩本一三  
新聞賢治  
水谷康治  
松浦茂昌

## 討論 要旨

### 【反対討論】

**石田良雄** 去年とことしの6月定例会で、ともに否決された議長辞職を求める決議と同一の趣旨であり、提案理由も何ら特別な状況が生じたとは思わない。このような発言を繰り返す側にも問題がある。議長は会派の代表と個別に会い、議会運営が全員でできるよう努力している。否決される議長の進退問題を何度も提出するのは、いたずらに議会を混乱させるものであり、議会の停滞を招き、住民の損失、あま市のマイナスになると考える。

### 【賛成討論】

**松下昭憲** 議員のところを回って努力をしているというが、ごく一部の人に会っただけ。

6月定例会の反対討論で、「議長の若輩がゆえの配慮不足、無鉄砲さ、生意気さ」などと発言し、議長としての資質がないことを決議に反対する議員も認めていた。

伊藤議長になってから、懇話会もなくなり、視察もできていない状況である。

### 八島 進

議長は、議会を運営するために自らの立場を鮮明にし、自らの意見を発信しながら理解を求めなければならぬが、それらが中途半端である。

議会内において議長発言等、全般の流れの中で議長の軽さを感じる。

もっと、自分の中立性、倫理観を含めて勉強されてから議長に登壇してはどうか。

## 地方自治体における防災・減災のための事業に対する国の財政支援を求める意見書

議員発議により国に提出

議員より、防災・減災事業に対する財政支援を求める意見書を国に提出する議案が提出され、賛成多数により可決されました。

### ▽意見書の趣旨

道路、橋、上下水道などは、生活の基盤であるだけでなく、災害時には住民の生命・財産を守る機能もあるが、地方自治体財政の悪化から、計画的修繕や改築すら進まない状況にある。

国土交通省の調査でも、自治体が管理する道路橋で老朽化のための補修が必要な橋のうち89%が、厳しい財政状況などを背景に補修されないままになっていることがわかった。

よって、国におかれて

は、これらの経年劣化対策などの防災・減災のための事業について、重点的な予算配分を行い、地方負担額の軽減措置を講じるよう要望する。具体的には、橋などの道路施設の長寿命化に資する耐震化や維持補修および架けかえ、老朽化した上下水道などの更新や維持補修などについて、補助採択基準の緩和や補助率の引き上げなど国庫補助制度の拡充、交付対象事業の範囲拡大などの財政支援を拡大することを強く求める。

### ▼提出先

内閣総理大臣  
総務大臣  
国土交通大臣  
農林水産大臣  
文部科学大臣

# 市政を問う

## 13 議員が質問



野中 幸夫 議員

### 西尾張地方税滞納整理機構について

**問** 西尾張地方税滞納整理機構事務所に住民税の本税は納め、延滞金が滞納の方と納税相談に向いたが、あま市（機構）職員は、話し合いを初め

Aさん「今とても払えない、どうなりますか」、機構「給料とか差押えするだけです」、Aさん「それでは、仕事が続けられない」、機構「奥さ

から拒否し、納税者の生活実態を聞こうとしないが。  
**総務部長** 同伴での納税相談はお断りしている。機構の対応でこんなことがあった。

このように機構には納税者の生活実態を考慮した話し合いをすることが全くないが。  
**総務部長** 生活実態を把握し、折衝する。不適切

んが働けばいい」、Aさん「私の働きだけでは無理、子どもの学費もある」、機構「高校生ならばバイトすればいい」、Aさん「バイトは禁止です」、機構「高校やめさせればいい」「差押して税金が入ればいい」

な部分は機構に報告する。  
**問** 徴収事務研修会の資料では、滞納者を疑り深いタイプ、ぐずタイプなどの見方を示しているが。  
**総務部長** いろいろな対応例を挙げて研修を行っている。

※西尾張地方税滞納整理機構とは愛知県と西尾張地方の9市町村が共同して、市税などの滞納整理を行う専門組織で、一宮市の西尾張県税事務所内に事務所を置く。

野中 幸夫 議員 (13 ページ)

1. 西尾張地方税滞納整理機構について

加藤 哲生 議員 (14 ページ)

1. 聴覚障害者への情報を

花木 敏行 議員 (14 ページ)

1. AEDは医療機器、日常点検を

櫻井 信夫 議員 (15 ページ)

1. 本庁舎方式への早期移行を

橋口 紀義 議員 (15 ページ)

1. 介護施設の拡充を
2. 今後のまちづくりは

倉橋 博 議員 (16 ページ)

1. 防災対策について

石田 良雄 議員 (16 ページ)

1. 広報あまについて

藤井 定彦 議員 (17 ページ)

1. 学校給食における食材について

水谷 康治 議員 (17 ページ)

1. 水路整備について

柏原 功 議員 (18 ページ)

1. 放課後子ども教室と児童クラブの拡充を

足立 詔子 議員 (18 ページ)

1. 通学路の総合的な安全対策は

前田 豊光 議員 (19 ページ)

1. 道路交差点の改良について

八島 進 議員 (19 ページ)

1. あま市民病院について
2. 甚目寺駅前再開発事業について



あま市議会の傍聴席には、磁気ループではなく、赤外線方式の補聴システムが設置されています。

## 聴覚障害者への情報を



加藤 哲生 議員

**問** 当市での聴覚障害者の把握はしているか。難聴者への福祉としての対策はどこまでされているか。補聴器の普及状況は。

**福祉部長** 聴覚障害をお持ちの方は、身体障害者

手帳の交付状況により把握している。手話通訳者などの派遣を行う支援事業がある。そのほか補聴器を支給する事業も行っており、対象者209名中68名に支給している。

**問** 雑音の少ないクリアな音声を聞くことができず、聴覚障害者用のシステムである磁気ループの周知活用および設置を考えているか。

**福祉部長** 大規模改修などの機会を捉えて、施設

の利用目的に応じて、導入の検討をしたい。窓口などへの導入は、筆談などのほうがより有効であるとも考えられるため、磁気ループの設置については、今後研究が必要である。

**問** 持ち運び型や小型のものもよく使われており、専用の受信機がなくても、Tモード対応の補聴器があれば聞くことができる磁気ループの設置の推進は。

**市長** 磁気ループの設置はメリット、デメリットを考え、研究させていたしながら前へ進めていきたい。

※磁気ループとは会議室などに設置したループアンテナに音声信号を送り、難聴者の聞こえを支援する設備。対応した補聴器であれば、スイッチを「T」に切り替えることで聞くことができる。

## AEDは医療機器、日常点検を



花本 敏行 議員

**問** 市内の設置状況は。

**総務部長** 公共施設全体では59カ所に設置している。

**問** 市ホームページの設置台数および県のAED

設置マップと台数が合わないが。

**総務課長** 市ホームページは更新漏れであった。既に正規の状態にした。県のAED設置マップは、速やかに更新をするよう措置する。

**問** AEDには、毎日一定の時間に不具合が生じていないかを確認するセルフテスト機能がある。市はどのように管理して

いるか。

**総務部長** 厚生労働省の適切な管理等実施についての通知により、ランプの色や表示で正常に使用可能な状態を職員が日常的に管理している。

**問** 通知では、日常点検を行なってくださいとあるが。

**総務課長** 目視による点検を行っているが、記録はとっていない。通知に基づき点検表の記録をするよう周知徹底を図る。

**問** 取り扱いの講習はどこまで浸透しているか。

**総務部長** 市職員については、設置時に受講している。今後は、期間が経過しているので定期的な講習の実施を検討する。

**問** 施設利用者の講習は。

**総務課長** 施設利用者に限らず、多くの方が受講機会を得られるよう、今後検討していきたい。



県のAEDマップ



**問** 最近、介護に対する相談を多く受けている。介護者を抱える家族の負担は深刻であり、支援窓口の充実と24時間対応型の施設の拡充を。



橋口 紀義 議員

## 介護施設の拡充を

**福祉部長** 包括支援センターの職員やケアマネジャーによく相談され、在宅サービスをフルに活用していただきたい。施設の入所待機者解消のため、第5期計画で介護老人福祉施設、特別養護老人ホーム100床を平成26年度に、グループホーム18床を平成25年度開設に向け、進めている。

**問** 高齢化社会に向け、将来を見据えたまちづくりが大事である。国土交通省は、街の中心部に都市機能を集約する、コンパクトシティの形成に取り組む市町村には、一部交付金の上乗せをするとしている。このような点も、あま市の計画に考慮していくのか。甚目寺、木田駅周辺整備後、公共施設や店舗などを集約し

**問** 高齡化社会に向け、将来を見据えたまちづくりが大事である。国土交通省は、街の中心部に都市機能を集約する、コンパクトシティの形成に取り組む市町村には、一部交付金の上乗せをするとしている。このような点も、あま市の計画に考慮していくのか。甚目寺、木田駅周辺整備後、公共施設や店舗などを集約し

**市長** あま市全体を考



木田駅周辺



本庁舎・分庁舎の地図(あま市のホームページより)

## 本庁舎方式への早期移行を



櫻井 信夫 議員

**問** 合併協定書の基本4項目の一つである新市の事務所の位置(本庁舎方式)については、新市基本計画の中で、「住民の利便性と効率性の観点から、合併後3年を目途に

5年以内を目標に、新市の中心付近である七宝地内を最適として整備を図ります」となっている。本庁舎方式への移行が遅れている。具体的計画は。企画財政部長 本年7月のあま市本庁舎検討委員会からの報告書は、基本的に合併協議にのっとった形での整備を進めるとした上で、時期については国の財政支援が受けられる合併推進債の活用期限の、平成31年度までに

本庁舎整備の完了を目標にすることが望ましいとなっている。この報告書を踏まえ本庁舎整備を着実に進めていきたい。**問** 合併前の住民アンケートで、住民の大きな期待は組織のスリム化などの行財政改革であり、本庁舎への移行がその第一歩である。なぜ遅れるのか。**副市長** 「本庁舎を3年を目途、5年以内」から遅れていることは認識し

ている。経費面では単独一般財源だけで立ち上げるのは市の財政規模では無理があるため、本庁舎の整備に係る貯金と合併推進債を活用した検討を進めていきたい。**問** (そのほか「合併効果の早期実現を」について質

四ヶ村排水機場



## 防災対策について



倉橋 博 議員

**問** 排水機場の点検整備、改修計画は。

**建設産業部長** 市内には排水機場が大小合わせて27機あり、年次、月次点検を実施している。改修計画では蜂須賀、小切

戸、木田排水機場は今年度事業完了である。鷹居排水機場は28年度、四ヶ村排水機場は30年度、梶村ポンプ場は、更新・耐震工事などが25年度完成予定である。

**問** 液状化対策は。

**建設産業部長** 国において東日本大震災復興交付金により、液状化対策を含めた都市防災推進事業が行われており、今後この制度が全国の市町村を対象に行われると聞いて

いる。  
**問** 災害時、緊急車両走行に安全の確保は。

**建設産業部長** 名古屋津島線バイパスの早期全線整備に向けた用地測量、県道須成七宝稲沢線の計画案作成などを今年度、県が実施予定である。

**問** 民間と一時緊急避難所の協定を。

**総務部長** 各区自主防災会が、民間施設を一時避難所として施設管理者と協定を結ぶなどの取り組

みに対して、積極的な支援を実施していきたい。  
**問** 市長の防災意識は。

**市長** 災害時にもあま市民力を結集して少しでも減災できるよう、自主防災会を初めとした、市民の積極的な取り組みに対して、支援をしていきたい。

## 広報あまについて



石田 良雄 議員

**問** 広報紙の発行2万9000部の内、市の施設に何部置いてあるか。  
**企画財政部長** 20施設に約1000部常備している。

**問** 毎月広報あまを発行して市政情報やその他必要な情報を掲載したことにより、市民に対して周知を図ることができた。当局は考えているようだが、施設に置いてある分を差し引くと2万8000部となり、市内の全3万4000世帯に配布できる部数ではない。  
**市民の税金を使って発行するのはだから全世帯に**

配布するのが当然だと考えるが。

**総務課長** 現在、配布物は、市から区長へ配布を依頼し、各家庭へ届けられている。自治会未加入世帯には広報などが届けられず、全世帯に配布されない状況になっている。  
広報紙などは行政情報の重要な発信手段であり、一刻も早く全市民に配布することが市の責務であると考えている。

広報紙などの配布方法を平成25年度から新聞折り込みやポスティングに移行し、全市民に行政情報を発信していきたいと考えている。

※ポスティングとは  
ビラやチラシを、各個宅の郵便受けへ直接投入すること。

区長への配布前に

市役所の車庫に納品された広報



市のホームページに掲載された、給食食材の予定産地情報

給食食材の予定産地(10月分)

平成24年9月24日現在の予定です。  
産地の産地は天候や収穫の状況により、変更になることがあります。

あま市立学校給食センター

食材	予定産地	備考
じゃがいも	北海道	
さつまいも	茨城	
キャベツ	愛知・高野・群馬	
きゅうり	愛知・長野	
ごぼう	愛知・北海道・青森・群馬・栃木・宮城	
千両菜	愛知	
セロリ	長野	
大根	北海道・岐阜・群馬・宮城・徳島	
豆苗	北海道	
ブロッコリー	愛知・群馬	
人参	北海道	
ほうろく	北海道・富山・長野	
菜の花	愛知	

## 学校給食における食材について



藤井 定彦 議員

**問** 福島第一原子力発電所の放射能放出事故から1年6カ月が過ぎたが、いまだに終息のめどは立たず、放射能は出続けている。物流の発達により豊かな社会になった今

日、あま市でも学校給食の食材において放射能二次汚染に大変不安を感じている。あま市の宝である子どもたちを守りたい思いは強い。給食センターでの食品の取り扱い。教育部長 簡易測定器により17都県からの食材について測定を行い、50ベクレル以上の場合、その食材の使用を中止する。

産地はホームページに掲載されているが、加工品の掲載はできないか。教育部長 当市のホームページにすべてを記載することはできないが、主な加工品の主要食材の産地を記載する方向で準備している。納入業者ともにより良い体制の構築を目指していきたい。

問 あま市健康づくり計画で給食においては地元農産物の活用、地産地消を啓発とあるが、給食センターでの取り組みは。学校給食センター課長 海部東農協と検討し、小松菜、ネギ、ホウレン草の3品を来年の1月から取り入れる予定である。

## 水路整備について



水谷 康治 議員

**問** 合併前にも水路整備は要望をしてきたが、一向に進んでいないと感じる。市内で少しの雨でも冠水する箇所は何力所あるか。現在の状況は。

**建設産業部長** 豪雨、雷雨、台風など強い雨が続いた場合には、市内の約14カ所が一時的に道路冠水する。台風を除いては、用水時期に関連して発生している。少しの雨でも冠水する箇所は状況等により異なるので、一概にはお答えできない。

**問** 水路整備については、計画を立ててやってほしいが、当局の考えを。

**建設産業部長** 各排水区域ごとに地元の要望などをもとに、緊急度を勘案して路線ごとに計画的に整備を実施している。

**問** 一日も早く進めてほしい事業だと思うが、今後どのように進められるのか。

**建設産業部長** 排水施設の整備は、市民生活に密接した重要な生活環境の改善に係る事業であると認識している。今後とも排水施設整備を計画的に実施したいと思う。

**市長** 地元の市民、地区の協力が一番大事であると認識している。市民の理解、協力があつてこそだと思つているので、順次計画的に実施していきたいと考えている。

※用水時期とは  
田植え前など田に水を引く時期で、水路の水位が高くなっている。



大雨により冠水した、木田駅前周辺の道路





甚目寺南小での放課後子ども教室

## 放課後子ども教室と児童クラブの拡充を



柏原 功 議員

**問** 放課後子ども教室の全小学校設置と、放課後児童クラブの対象児童の拡充（小学6年生まで）について。

**福祉部長** 放課後子ども教室の全小学校設置につ

いては、未設置の小学校の保護者からの声を聞いていない状況である。それと合わせて空き教室確保や指導者の確保の課題などがあるので、全小学校設置に至っていない。

放課後児童クラブの対象児童の小学校6年生までの拡充についても、場所の確保や指導員の確保の課題などがある。地域の事情に合わせて、施設面、人員面について関係部署と相談しながら検討して

いく。

**問** 放課後児童クラブの利用状況を見ると、定員に対して、登録者数がかなり下回っているクラブがある。

一人でも多くの子どもたちに安全な居場所を提供するため、定員に達するまで対象学年を上げるということができないか。

**子育て支援課長** 現在のところ、3年生までを対象に実施しているが、高

学年の児童に枠を広げていくことも将来的に必要になってくると考えている。空き教室の確保や利用者のニーズ、保護者のニーズを確認しながら進めていく必要があると考えている。

## 通学路の総合的な安全対策は



足立 詔子 議員

**問** 通学路における交通事故が多発している。文部科学省などから、すべての公立小学校で緊急合同総点検が実施される通知が発せられた。総点検

の結果も踏まえたあま市の通学路の安全対策は。

①全小学校の緊急合同総点検の結果

②「目に見える」諸対策の実施

③継続的な通学路の安全点検実施

④通学路の安全対策取り組み、見通しの悪い交差点対策

**教育部長** ①市内12小学校で、54カ所の緊急合同

点検実施箇所を確認。交通安全マップの見直しを随時行う。

②具体的な対策は、本年11月末をめどに整理し、判断していく。カラー舗装など代替手段も検討。

③学校ボランティアを中心として通学路の点検や危険個所の確認をしている。点検は今後も継続する。

**建設産業部長** ④津島警察署より甚目寺小学校周辺をゾーン30として指定

する予定。見通しの悪い交差点対策は、交差点マーク、道路反射鏡などの安全施設の設置などを検討していく。

**問** ソフト・ハード両面にわたる継続的な安全対策の実施について。

**教育長** 施設面などの安全の確保、児童には交通规则やマナーを守る心を育てるといことも大切である。今後とも安全な通学路の確保に努めていきたい。



甚目寺小学校周辺の道路

※ゾーン30とは車の最高時速を30キロに規制し、幅の狭い生活道路での歩行者や自転車の安全を確保する区域



## 道路交差点の改良について



前田 豊光 議員

**問** あま市全域の道路交差点では交通渋滞が多く、交通事故も発生している。右折帯がなく、信号が赤になっても右折する車が多く事故につながっているように思われ

る。あま市全体での交差点改良状況はどのようなになっているのか。  
**建設産業部長** 現在、坂牧東交差点と伊福交差点の2カ所で歩道の整備および右折帯の設置を行う交差点改良を予定している。

**問** 現時点で住民からの交差点改良の要望はどれくらいあるのか。給父西枇杷島線（市役所本庁舎前の東西道路）の要望が多いと思われるが、丹波

交差点についての要望はどうなっているか。  
**建設産業部長** あま市全体で10カ所の要望をいただいている。  
**土木課長** 丹波交差点は、過去用地買収が実施されたときにも右折帯の設置を要望しているが、実施されていない。西部地区からも渋滞解消の要望が出されている。  
**問** 給父西枇杷島線の交差点に右折帯がないため渋滞が激しく、迂回する

車が多い。特に朝は子どもたちの登校と重なりかなり危険である。右折帯の計画はないのか。  
**建設産業部長** 県道の交差点であり、要望を出しているが、拡幅には地権者の同意が必要になる。  
**土木課長** 県道交差点が事業化されれば、一体となって事業を進めていく予定である。

## あま市民病院について



八島 進 議員

**問** 毎年税の垂れ流しと累積負担金58億7千万円について、無責任さを感じる。経営改善計画は。市民病院事務局長 「あま市民病院改革プラン」

を見直し、新病院の開院を見据えた今後の経営目標を立て、目標達成に向けて努力している。  
**問** 年10億近い税負担について、改善見込みは。  
**市民病院事務局長** 料金収入が増収となり改善傾向であるが、さらなる経営改善を進め、負担金の減少に努めたい。  
**問** 経営・管理体制の見直しを。

**市長** 地方独立行政法人化もしくは、指定管理者制度の導入も念頭に置き、研究を重ねていく。  
**甚目寺駅前再開発事業について**  
**問** 工事遅延の理由と工事終結のめどは。  
**建設産業部長** 未買収地の地権者から県収用委員会に対して裁決取消請求訴訟およびあま市に対して損害賠償請求訴訟が起こされている。県による土地収用代執行を待つて

工事着手し、来年3月末までに工事完了である。  
**問** 期限内工事不能となった場合、国への補助金返還額は。  
**建設産業部長** 未施工箇所が残っても補助率以上の事業を執行するので、返還は発生しない。  
**問** この事業を速やかに完結する責務があるか。  
**市長** 私の責任だと思っている。地権者の皆さんの協力と理解が大変必要なことを感じている。い

ろいろな問題があったがお許しいただきたい。



甚目寺駅前

願 請

# 請願1件、陳情3件を採択

## 意見書を国・県に提出

陳 情

9月定例会では請願が3件、陳情が7件審議され、そのうち請願1件、陳情3件を採択しました。その後、意見書の提出について審議し、可決した意見書を国および県に提出し、実現するよう要請しました。ここでは、意見書の内容を要約してお伝えします。

### 愛知県の福祉医療制度の存続・拡充に関する意見書

#### ▽意見書の趣旨

子ども医療費助成制度は、母子・父子世帯への医療費助成とあわせて、子育て支援の推進施策の大きな柱となっている。また、障害者医療費助成や、後期高齢者福祉医療費助成も、障害者や高齢期の医療を支える大切な施策となっている。これら福祉医療制度は

しかしながら、愛知県

が発表した「重点改革プログラム策定に向けた重点改革項目及び論点」の中には「福祉医療制度の見直し」が含まれており、福祉医療制度の縮小が危惧されている。この制度は各市町村が行っている医療費助成に大きな影響を与えるものであり、より慎重な討議が必要である。

的に維持できるように、愛知県の福祉医療制度の現行水準を存続するとともに、子ども医療の対象年齢の拡大、精神障害者の対象疾病の拡大など、愛知県の助成対象の拡充を図ることを強く求める。

#### ▼提出先

愛知県知事

よって、各市町村が今後も福祉医療制度を安定

### 義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書

#### ▽意見書の趣旨

三位一体改革により、義務教育費国庫負担制度の国庫負担率は、2分の1から3分の1に引き下げられ、自治体財政を圧迫している。子供たちが全国どこに住んでいても、機会均等に一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請であり、そのために、義務教育費国庫負担制度を堅持すること、また、国庫負担率を2分の1へ還元するこ

とは、国が果たさなければならぬ大きな責任の一つである。

#### ▼提出先

内閣総理大臣  
内閣官房長官  
文部科学大臣  
財務大臣  
総務大臣

よって、平成25年度の政府予算編成にあたり、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国庫負担率2分の1への還元に向けて、十分な教育予算を確保されるよう強く要望する。



国の私学助成の増額と拡充に関する意見書

▽意見書の趣旨

私立学校は、国公立学校とともに国民の教育を受ける権利を保障する上で重要な役割を担っており、国においても、学費の公私間格差是正を目的とした私立学校振興助成法を昭和50年に制定し、

文部省による国庫助成たる各種助成措置を講じてきたところである。

このような状況下で、平成22年度から「高校無償化」の方針のもと、国公立高校のみが無償化されている。私学へも一定の就学支援金が支給されたものの、今なお私学の生徒と保護者は高い学費、公私間格差を強いられ続けている。私立高校は生徒の募集難に苦しみ、私学教育本来の良さを損ないかねない状況に置かれ、このままでは、公立とともに、「公教育」の一

翼を必死に担ってきた私学の存在そのものが危うくなる恐れもある。

よって、当議会は政府に対し、国の責務と私学の重要性に鑑み、父母負担の公私格差を是正するための就学支援金を一層拡充するとともに、あわせて、私立学校振興助成法に基づく国庫補助制度を堅持し、私立高校以下の国庫補助金とそれに伴う地方交付税交付金を充実し、私立高等学校以下の経常費補助の一層の拡充を図られるよう強く要望する。

▼提出先

- 内閣総理大臣
- 財務大臣
- 文部科学大臣
- 総務大臣



私学助成制度を紹介する、愛知県のホームページ

愛知県の私学助成の増額と拡充に関する意見書

▽意見書の趣旨

私立学校は、公立学校とともに県民の教育を受ける権利を保障する上で重要な役割を担っており、愛知県においては、

学費と教育条件の公私間格差是正と父母負担軽減を目的として、「経常費2分の1助成」、「授業料助成」など、各種助成措置を講じてきた。

しかし、この3年間は国からの財源措置さえ下回る状態が続いている。そのために、少子化による生徒減とも重なって、多くの学園の経営は深刻な事態となっている。私学も、公立と同様に、公教育を担う教育機関であり、愛知県下の高校生に3人に1人は私学で学んでいる。私学は、独自の伝統、教育システムに基づく教育を提供し、教育改革に積極的な役割を

果たしてきている。私立高校は、生徒急増期においては、生徒収容で多大な役割を担うなど、「公両輪体制」で県下の「公教育」を支えてきた。

よって、当議会は、国からの支援金を加算し、父母負担軽減に大きな役割を果たしている授業料助成を拡充するとともに、経常費助成についても国から財源措置のある「国基準単価」を保障し、学費と教育条件の「公私格差」を著実に是正できる施策を実施することを要望する。

▼提出先

愛知県知事

# 議案等審議結果

議案番号	件名	付託先委員会	委員会の審査結果	本会議の議決結果
議案第53号	平成24年度あま市営住宅管理事業特別会計補正予算(第1号)	総務文教	全員賛成 原案可決	全員賛成 原案可決
議案第54号	平成24年度あま市介護保険特別会計補正予算(第1号)	厚生	全員賛成 原案可決	全員賛成 原案可決
議案第55号	平成24年度あま市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	建設産業	全員賛成 原案可決	全員賛成 原案可決
議案第56号	平成24年度あま市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	厚生	全員賛成 原案可決	賛成多数 原案可決
発議第3号	地方自治体における防災・減災のための事業に対する国の財政支援を求める意見書の提出について	総務文教	賛成多数 原案可決	賛成多数 原案可決
請願第5号	「教育費無償化」の前進をもとめる請願	総務文教	賛成少数 不採択	賛成少数 不採択
請願第6号	「ゆきとどいた教育」の前進をもとめる請願	総務文教	賛成少数 不採択	賛成少数 不採択
請願第7号	愛知県の福祉医療制度の存続・拡充を求める意見書提出の請願	厚生	全員賛成 採択	全員賛成 採択
陳情第4号	愛知県の福祉医療制度の存続・拡充に関する意見書提出をもとめる陳情書	厚生	賛成少数 不採択	賛成少数 不採択
陳情第5号	義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める陳情書	総務文教	賛成多数 採択	賛成多数 採択
陳情第6号	地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書の採択について	総務文教	賛成少数 不採択	賛成少数 不採択
陳情第7号	国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書	総務文教	賛成多数 採択	賛成多数 採択
陳情第8号	愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書	総務文教	委員長裁決 採択	賛成多数 採択
陳情第9号	私立高校生の父母負担を軽減し、学費の公私格差を是正するために市町村独自の授業料助成の拡充を求める陳情書	総務文教	賛成少数 不採択	賛成少数 不採択
陳情第10号	「愛知県の福祉医療制度の存続・拡充を求める意見書」の提出を求める陳情書	厚生	賛成少数 不採択	賛成少数 不採択
発議第5号	愛知県の福祉医療制度の存続・拡充に関する意見書の提出について	付託省略		全員賛成 原案可決
発議第6号	義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書の提出について	付託省略		賛成多数 原案可決
発議第7号	国の私学助成の増額と拡充に関する意見書の提出について	付託省略		賛成多数 原案可決
発議第8号	愛知県の私学助成の増額と拡充に関する意見書の提出について	付託省略		賛成多数 原案可決

議案番号	件名	付託先 委員会	委員会の 審査結果	本会議の 議決結果
発議第4号	伊藤嘉規議長の議長辞職を求める決議について	付託省略		賛成少数 原案否決
認定第1号	平成23年度あま市一般会計歳入歳出決算の認定について	総務文教 厚生 建設産業	賛成多数 賛成多数 全員賛成	賛成多数 原案認定
認定第2号	平成23年度あま市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	厚生	賛成多数 原案認定	賛成多数 原案認定
認定第3号	平成23年度あま市土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について	総務文教	全員賛成 原案認定	全員賛成 原案認定
認定第4号	平成23年度あま市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	総務文教	全員賛成 原案認定	全員賛成 原案認定
認定第5号	平成23年度あま市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	建設産業	全員賛成 原案認定	賛成多数 原案認定
認定第6号	平成23年度あま市営住宅管理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	総務文教	全員賛成 原案認定	全員賛成 原案認定
認定第7号	平成23年度あま市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	厚生	全員賛成 原案認定	賛成多数 原案認定
認定第8号	平成23年度あま市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	建設産業	全員賛成 原案認定	全員賛成 原案認定
認定第9号	平成23年度あま市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	厚生	賛成多数 原案認定	賛成多数 原案認定
認定第10号	平成23年度あま市水道事業会計決算の認定について	建設産業	全員賛成 原案認定	全員賛成 原案認定
認定第11号	平成23年度あま市病院事業会計決算の認定について	厚生	賛成多数 原案認定	賛成多数 原案認定
議案第46号	あま市地域公共交通会議条例について	総務文教	全員賛成 原案可決	全員賛成 原案可決
議案第47号	あま市防災会議条例の一部を改正する条例について	総務文教	全員賛成 原案可決	全員賛成 原案可決
議案第48号	あま市災害対策本部条例の一部を改正する条例について	総務文教	全員賛成 原案可決	全員賛成 原案可決
議案第49号	あま市遺児手当支給条例の一部を改正する条例について	厚生	全員賛成 原案可決	全員賛成 原案可決
議案第50号	平成24年度あま市一般会計補正予算（第2号）	総務文教 厚生 建設産業	全員賛成 全員賛成 全員賛成	全員賛成 原案可決
議案第51号	平成24年度あま市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	厚生	全員賛成 原案可決	全員賛成 原案可決
議案第52号	平成24年度あま市土地取得特別会計補正予算（第1号）	総務文教	全員賛成 原案可決	全員賛成 原案可決



<http://www.city.ama.aichi.jp/gikai/>

○議会中継…本会議での一般質問の様子や議長など役員改選時の臨時会の模様を、ケーブルテレビのクローバーチャンネルにて放映します。放映は生中継とその日の午後7時から再放送しています。

○会議録検索…本会議や委員会の会議録を公開しています。探したい言葉を入力すれば容易に検索することができます。

本市議会では、上記のほかにも、次期議会の日程予定や議会だよりもホームページにて公開しています。お気軽にご覧ください。

## あなたも議会を傍聴しませんか?

今、あま市ではどんなことが議論されているのだろうか。また、どんな計画があってどう進んでいるのであろう。あなたの身近なことも議会で論議されているのかもしれませんが。あま市役所甚目寺庁舎3階の議会事務局で、住所・氏名などを記入していただくだけで、誰でも傍聴できます。白熱した質問と答弁を、あなたもぜひ見に来られては…。

音声の間こえにくい方のために、赤外線補聴システムを設置しています。ご希望の方にはヘッドホン付き受信機をお貸します。当日、傍聴受付までお申し出ください。

次回の定例会は、**11月28日(水)**からの予定です。

## 「市民の声」を

あま市議会だよりに対する「市民の声」を、お待ちしております。どうぞお気軽にお寄せください。

なお、応募数によっては、掲載されないこともありますので、よろしくお願ひします。

- ・応募方法は FAX、郵送、Eメール
- ・あて先は 〒490-1198  
愛知県あま市甚目寺二伴田76番地  
FAX 052-444-4055  
Eメール giji@city.ama.lg.jp
- ・文字数は 50字以上、350字以内でお願いします。
- ・応募にあたって 住所、氏名、電話番号を必ず記載してください。採用された方には、議会だより編集特別委員会より予めご連絡申し上げます。また、氏名は「市民の声」の記事に合わせて、掲載させていただきます。

## 募集します

## 12月定例会予定

11月28日(水)	議案説明
12月4日(火)	一般質問
12月5日(水)	議案質疑
12月10日(月)	総務文教委員会
12月11日(火)	厚生委員会
12月12日(水)	建設産業委員会
12月21日(金)	討論・採決

※日程は変更となる場合があります。

## 編集後記

9月議会は、別名決算議会とも呼ばれております。

前年度の予算が、適切に執行されたかどうかの審議です。本会議で審議され、委員会で審議された内容が盛りだくさん議会広報誌に掲載されています。

議員がどんなところにメスを入れていくのかを注視して読んでいただければ、編集の甲斐があったと思います。

(花木)

### ■議会だより

#### 編集特別委員会

委員長 加藤 正  
副委員長 加藤 哲生  
委員 杉藤 憲二  
委員 新間 賢治  
委員 吉川 景男  
委員 花木 敏行  
委員 八島 進  
委員 水谷 康治  
委員 足立 詔子

発行/あま市議会 編集/議会だより編集特別委員会

〒490-1198 愛知県あま市甚目寺二伴田76番地 TEL 052-444-3174 FAX 052-444-4055